

「体験を通して学ぶ子どもたち」

校長 松尾詩朗

今年の11月も町文化祭での「だんじり」の演奏、クリーン作戦、保小中合同文化祭とたくさんの行事を実施しました。

町文化祭での小中合同の「だんじり」演奏では、今年も聴衆の皆様から大きな拍手を頂くことができました。

クリーン作戦では例年通り、校区の公衆トイレ3箇所の清掃、道路でのゴミ拾い、駐車場の清掃等を小中学生が合同で実施しました。

昨年に続く第二回目の合同文化祭には、保護者の皆様、地域の皆様に多数来校いただき、子どもたちの作品や演技を見ていただくことができました。温かい声援を送っていただきました皆様に心より感謝申し上げます。また、物品バザーでは丹精込めて育てた様々な農作物を始め、数々の日用品を出品していただき、ほとんどの品物が完売しました。飲食バザーでは、本年は前売りをせず当日券のみとさせていただきますが、ほぼ予定通りの売り上げとなりました。収益につきましては、児童・生徒の教育活動のため、有効に活用させていただきたいと考えています。様々な形でご協力いただいた保護者並びに地域の皆様に心より感謝申し上げます。

清掃活動により、地域を愛する心を育てることができます。努力して造った作品やみんなで協力して創り上げた合唱、合奏、劇に対して皆様から賞賛の声を頂くことは自信になり、次の活動への大きなエネルギーとなります。

次はいよいよ12月16日に予定されているマラソン大会に向けての練習もスタートします。

マラソンは、自分自身が設定した記録との戦い、また、順位を争う競争の部分もあります。一方、途中で走るのが辛くなってきた時に自分自身の心と戦いながら、我慢しながら、歯を食いしばりながらゴールしたときの達成感というものを味わえるのもマラソンです。勿論、体を鍛える、強くするという側面もあります。

それぞれの子どもたちが、どのような目的で今年のマラソンに取り組むにしても、練習を通して、また大会を通して、得るものは大きいように思います。12月16日のゴールをめざして頑張ってもらいたいと思います。